

令和7年12月12日

車輪脱落事故 限りなくゼロへ！県内道の駅において啓発活動を実施 ～ 自動車ユーザー・ドライバーへ事故防止対策の徹底を図ります ～

鳥取運輸支局では、大型車の車輪脱落事故の根絶を目指し、大型車ユーザー・ドライバーに対し、車輪脱着時の「確実な交換作業」の実施と、「一定距離走行後の増し締め」「運行前（日常）点検等による緩みの確認」を徹底していただくため、令和7年12月18日、鳥取県内の道の駅において街頭啓発活動を実施します。

令和6年度の全国の大型車の車輪脱落事故は120件、（前年度比－22件）発生し、うち人身事故は3件（3名が重軽傷）となっています。一方、鳥取県では前年度から2件増加した3件の事故が発生しており、全国の減少傾向に反して増加しています。

鳥取運輸支局では、県内で事故が増加している状況、また、車輪脱落事故は交換後1ヶ月以内に最も多く発生し、その約50%が自動車ユーザーによる交換作業であることを踏まえ、事故防止には「確実な交換作業」とともに、自動車ユーザーによる「一定距離走行後の増し締め」「運行前点検等による緩みの確認」が必要不可欠と考えています。

そこで、車輪脱落事故が最も多く発生する12月に合わせ、県内の道の駅において、大型車ユーザー・ドライバーに対し、事故防止を直接訴える街頭啓発を実施します。

また、これと併せて小型車ユーザーに対し、タイヤ点検（摩耗、損傷、空気圧）、トルクレンチの緩みの確認）を行い、自動車の安全と点検意識の高揚を図ります。

1. 街頭啓発の実施日時、場所及び実施内容

日 時：令和7年12月18日（木）13：30～15：00

場 所：道の駅西いなば気楽里（鳥取市鹿野町岡木280-3）

実施内容：下記のとおり

大型車：交換後の増し締め、運行前点検・インジケーターの活用による緩みの確認の実施の啓発、車載工具・トルクレンチを用いた緩みの確認

小型車：タイヤ点検（摩耗、損傷、空気圧）、トルクレンチを用いた緩みの確認

協力機関：自動車技術総合機構、鳥取県自動車整備振興会

2. 街頭啓発以外の主な取組

- ①自動車整備事業者・タイヤショップ等に対し、車輪脱着時の確実な作業の実施、ユーザーに対する増し締めと日常的な緩みの点検の啓発を協力依頼
- ②各種媒体を用いた啓発広報
市町村発行の広報誌、鳥取県警察の所管する電光掲示板への啓発メッセージの表示、道の駅等にて、ポスター・チラシの掲出により「お・と・さ・な・い」の啓発

【問合せ先】

中国運輸局 鳥取運輸支局 整備・検査
大岩（おおいわ）・山本（やまもと）
TEL：0857-22-4110



【資料配付先】鳥取県庁県政記者クラブ